

KSK

すたこらさん

あきごう
2025 秋号

一九八四年八月二〇日第三種郵便物承認 毎月五回(5・10・15・20・25日)発行



牧口一二さんを語り合う会を終えて

昨秋、ぜんかい屋に牧口さんの等身大に近いパネルがやって来ました。このパネルは昨年八月に催された「牧口一二さんを語り合う会」の会場で参加者を出迎えて、まさに語り合う会の主役として微笑みかけてくれていた牧口さんそのものです。

牧口さんが星になってから一年

近くの準備期間を経て、参加者それぞれの牧口さんの思い出をふり返ってもらおうという企画で実施されました。みなさんご存じのとおり牧口さんは全国に出向き、福祉、教育、交通バリアフリー、災害支援と多岐にわたって活動されました。ほくも今回、実行委員会に参加させていただき、あらためて牧口さんの

人脈の広さと深さを実感しました。この語り合う会の目的には牧口さんの思い出を共有するということ、それともう一つ牧口さんが活動に託してきた思いをこれからの活動を担う人々にどう伝えていくかというテーマがありました。ほくは牧口さんと出会って三十数年になります。牧口さんから教えていただいたメッセージを少しでもふり返っていかたいいなと会の準備をすすめるがらうと感じていました。

会の当日に配布された追悼文集にも書かせていただきましたが、ほ



くが牧口さんからかけてもらった
言葉の一つに「弱い障害者も立派な
障害者」という言葉が胸に深く刻ま
れています。「強く発言できる
障害者もいればそうでない人もい
る。その人たちと一緒に活動できる
場として応援センターを作りたか

った」。牧口さんは応援センターを
立ち上げたときの思いをそう語っ
てくれていました。

おそらく応援センターを作った
理由はこれだけではなかったと思
います。おそらく多様な立場や生い
立ちなどの環境の垣根を越えて
活動できることが応援

センターの特徴の一つ
であることは間違いな
いといえるでしょう。
障害者も応援者もそれ
ぞれの立場で、それぞれ
の思いを持って活動で
きるのが応援センター

であるように思います。時には立場
の違いでぶつかり合いながらも
活動を進めてきたと思います。

はたして今の応援センターはみ
なさんにはどう映っているでしょ
うか？ 障害者の立場、応援者の
立場、それぞれの違った思いをしっ
かりと認め合えているでしょう
か？ 語り合う会を終えてこのよ
うな問いかけがぼくの心に広がっ
ています。牧口さんのパネルを日々
眺めながら、その答え合わせをして
いる毎日です。牧口さんは今日も優
しく微笑んでくれています。

(文・福島義弘)

おおさかかんさいばんぱく お
大阪関西万博を終えて
 (文・聞き取り 井ノ口貴子)

今年(ことし)は大阪関西万博(おおさかかんさいばんぱく)があるという
 ことで、ふみえさんと一緒に(いっしょ)「行きた
 いなあ」と言(い)っていました。しかし、
 なかなかメンバリング等(とう)が決(き)まらず、
 話(はなし)が進(すす)まないでいましたら、小杉(こすぎ)
 さんが、「僕(ぼく)が考(かん)えてあげ(あ)げる」とすらす
 らとメンバ(メンバ)ーの組(く)み合(あ)わせと、行(い)く日(ひ)
 にちを考(かん)えてくれました。そのあと、
 微(び)調整(ちようせい)をして、ぎりぎり、ぜんかい屋(や)
 のメンバ(メンバ)ーの多(おほ)くが行(い)くことができ
 ました。
 みんなの感(かん)想(そう)を書(か)いてみたいと思(おも)
 います。

9月29日(がつ) (にち)

伊東史恵(いとうふみえ)

トルコアイスを買(か)いに行(い)った時に
 遊(あそ)んでくれたのがおもしろかった。
 大屋根(おおやね)リングも半分行(はんぶんい)けたことが

良(よ)かった。

噴水(ふんすい)も見(み)れて良(よ)かった。お土産(みやげ)が買(か)
 われなかつたのが残(ざん)念(ねん)でした。



堀江勇介(ほりえゆうすけ)

万博(ばんぱく)行(い)けて良(よ)かった。たぐさんの旗(はた)
 が見(み)れて良(よ)かった。

近藤順子(こんどうじゅんこ)

大屋根(おおやね)リングを歩(ある)いた時に周(まわ)りの
 景(け)色(しき)がよく見(み)えて気(き)持(も)ち良(よ)かった。
 噴水(ふんすい)シヨ(シヨ)ーも見(み)れて良(よ)かった。パビ

リオンは人(ひと)が多(おほ)すぎて自(じ)分(ぶん)が思(おも)っ
 ているパビリオンに行(い)けず、どこも見(み)
 なくて残(ざん)念(ねん)でした。

トイレはリフトが使(つか)えて良(よ)かつた
 です。



9月30日(がつ) (にち)

北浦和則(きたうらかずのり)

行(い)きたいところに行(い)けなかつたか

ら、全然おもしろくなかった。

高長弘晃

あまり時間がなくて2時間では難
しく、1個はパビリオンに行きたかつ
た。残念でした。



10月1日

小杉勇太

万博に行けて満足。
フランス館にすんなり入れるんだ
ったら、クウエート館に行きたかった。
ペルー館が良かった。

村上晃

みんなと一緒に歩いて良かった。

田代徳子

歩いて良かったです。



10月3日

津田智子

人が多すぎてしんどくて雨がパラ
パラ降ってたから、発作がでた。

瀧山和也

けっこう最後の方やったけど、ク
ウエート館、スペイン館、フランス
館に行けて良かった。

瀧山利加

万博にはまりました。単独で8回
行った上に、それにプラスしてぜん
かい屋で行った。
全部でのべ50パビリオンに行け
た。

私が万博に行った経験から、ぜん



かい屋での計画の参考にしてもらえたのが、良かった。

10月6日

下田一也

人が多かったけど、雰囲気味わえて、

いろんなおみやげを見て買えて楽しんで良かったです。

白井克成

大屋根リングが思ったより大き

くて、人もいっぱい見えたので、後半

に行ったのに、まだ人がいっぱい居て、

驚いた。大屋根リングが一番の思い出

でした。



ばんぱく
万博

むらかみ
村上

あきら
晃

関西万博も残り13日となった2

025年10月1日にぜんかい屋か

ら行きました。



55年前には、千里万博の時は4回
行き4回ともアメリカ館の月の石を
見に行きました。

なぜかという、親戚の人が来て、

万博見物するのに、私と一緒にいく

と障害者手帳を見せて優先的に入れ

ることになっていたので、いい思い出

になっています。今回は自分の体の

事もあり最初で最後の機会でした。

一緒に行ったメンバーは小杉さん・

田代さんとスタッフは工藤さん・

井ノ口さん・高島さんで行きました。

連日20万人を超える人でいっぱい

だから移動も大変で、大屋根リングを

くぐるのも一苦労でした。とりあえず、

あんまり混んでいない所に行こうと

なりました。

そこでカンボジア館に行きました。

アンコールワット寺院にある仏像や

写真を見て周り、まあまあ良かったと

おも
思いました。因みに1番行きか
たのはイタリ
ア館だった
のですがあ
ま
りにも人が
多く諦めま
した。イタ
リ
ア館の周
りにある彫
刻をバック
に
写
真
を
撮
り
ま
し
た。



い
っ
せ
つ
か
く
行
っ
た
の
だ
か
ら
も
う
一
か
所
く
ら
い
入
り
た
い
と
思
い
、
ダ
メ
も
と
で
フ
ラ
ン
ス
館
に
行
っ
て
み
た
ら
、
な
ん
と
し
や
う
が
い
し
や
て
ち
や
う
障
害
者
手
帳
を
見
せ
る
と
優
先
的
に
入
れ
る
と
言
う
事
で
入
ら
せ
て
頂
き
ま
し
た。
障
が
い
者
一
人
に
付
き
介
助
者
一
人
と
言
う
事
で
井
ノ
口
さ
ん
と
入
り
ま
し
た。
さ
ず
が
に
芸
術
の
国
と
思
わ
せ
る
光
と
フ
ア
ッ
シ
ヨ
ン
の
融
合
が
見
事
で
し
た。
井
ノ
口
さ
ん
が
「
良
か
っ
た
」
と
言
っ
て
感
動
し
て
お
ら
れ
た
よ
う
で
す。
滞
在
時
間
が
3
時
間
弱
と
短
か
っ
た
け
ど
、
家
に
帰
っ
た
ら
、
い
つ
も
の
時
間
で
生
活
リ
ズ
ム
を
乱
す
こ
と
な
く
過
ご
せ
た
こ
と
が
何
よ
り
で
し
た。



金沢さんによる

訪問入浴に関する陳情活動

ぜんかい屋メンバーで頸椎損傷の重度障害を持つ金沢さんにとって訪問入浴のサービスは入浴という難易度の高い支援を担ってくれる貴重な社会資源となっています。

その利用回数には残念ながら制限があつたため役所と交渉をされましたが、なかなか進展はありませんでした。しかし、その後、陳情活動が実を結び、利用回数改善の結果を勝ち得ることができたので

す。その過程では、心ある支援者・応援者が現れ、またその体験を世の中に伝えていこうという営みがありました。

その体験・経緯については、

一昨年、市民の活動を応援するジャーナリスト（UCO ユナイテッド

コミュニティ オオサカ）の方が

金沢さんへのインタビューを元に書

かれた記事が現在公開されており、

応援センターのホームページ（top-

o-center.com 「応援センター」で

検索）からも見る事ができるので

ぜひご覧になってください。

人が生きていく中で世の矛盾や

問題に面した時、制度や因習の壁に

阻まれ、あきらめてしまいうるな

ることも多いと思いますが、くさらず、あきらめず、できることを見つけて行動することで、同じ思いを持つ人がつながらり世の中を少しづつ動かしえるということを学ばせてもら

い元氣・勇氣をもらえました。

金沢さんは、ここ数年は体調や

介助・支援体制が十分でない為、な

かなか、ぜんかい屋に来ることは難

しいのですが、自宅で貴重な時間・

労力を費やしてホームページの運営

を担ってくれています。インスタグ

ラムやツイッターもあり、楽しい

写真や動画や有用な情報も掲載され

ておりで、とても充実したもののな

で、どうぞ皆さんもアクセスしてみ

てくださいね。（戸田俊二郎）

入院はもうじじり

むらかみ
村上
あきら
晃

入院はもうこりこりというタイトルにしたのは、何回も
危ないことがあったからです。

危ないとは、命に関わることだからです。

もともと私は気管支喘息があり、よく痰がからんで吸引
も毎日のようにやっていた。それが2024年末、12月2
1日に、インフルエンザから始まって誤嚥性肺炎を何度も
繰り返して長期の入院になりました。この間、家の近く
のA病院からB病院に転院となり、約4か月かかってよう
やく気管支のほうも落ち着いて退院となりました。

これから語ることは、読まれる人によっては、フィクシ
ンだと思う方もいらっしゃると思いますが、自分の思い
としては実際あった話を書くつもりです。ここがおもしろ
いところでしよう。でも、こんなことが実際にあったら、
大事件の連続になって、ここでのんびりこんなことを書い
てられるわけがないのです。第一、警察沙汰なっていたいへん
なことになるでしょう。

A病院では、インフルエンザの治療と気管支喘息の治療
をよくやってくれたと思います。院内リハも受けられたし、
言語聴覚士もついて飲み込みや言語訓練もありました。
入院して、3週間くらい経った時に、B病院に転院という
話がありまして、治る見込みがあるのなら、治療を続けよ
うかなと思いました。2025年1月20日前後に転院し
たと思います。この時は同じ格好でベッド暮らしたったか
ら、今日は何日か分からない状態でした。看護婦さんに3

時間から4時間おきに寝返りをさせてもらう時に、目がまわってしまいました。ベッドで寝ているせいもあつたでしょう。長いこと寝ていると熱のせいもあり、目の前が暗くなることもありました。昼か夜か分からない状態でした。

まあこの頃から、変な幻聴が聞こえるようになり、自分の耳から人の声(聞き覚えのある)聞こえてきたりしました。また、犬みたいな動物がたくさんでてくるようになりました。自分の足をなめられたりするような感覚があるようになり、こんなとこに入院するのは嫌ややなあという思いが強くなりました。だから、早く出たい。こんなとこに居てられないと思うようになりました。もう嫌になって、もう嫌で嫌でしかたなくなりました。

ヘルパーさんが入院中入ってくれたら、どれだけ気持ち晴れたでしょうか。ぼくのことを、まともな感情を持っている人間であると、看護師をはじめ病院関係者が理解し

てくれませんでした。そのため、こういうことにつながったのではないかと思います。

2025年7月



The letter from ZENKAI-YA
作業所通信
ぜんかい屋からの手紙2025年秋号



はじめに

二〇二五年の大きなイベントといえは
関西万博。ぜんかい屋でもメンバー皆さ
んと一緒に行く事ができました。
開幕当初は皆さんの行きたい気持ちも
強くなかったので、まだすぐには行か
なくても大丈夫と声は上がりませんでし
たが、個人で行かれた方の話しや、テレ
ビからの情報もあり、行きましよう
なったタイミングがもう八月。九月下旬
から順番にチケットを取れましたが、
閉幕に向けての駆け込みの方が増えて
きた時だったので、もう少し遅かったら

行けなかったです。

希望のパビリオンに入れなかった事もありませんが、大屋根リン
グの大きさに感動したり、前回の五年前の万博を思い出した
りと楽しい時間を皆さんと共有する事ができました。

その後も外出イベントでグループに分かれて、希望の場所に出
かけました。今回は色々外出する事ができ、皆さんが満足でき
た事が良かったです。皆さんの生活の中で、ぜんかい屋の外出イ
ベントが大きな役割になれるようこれからも一緒に楽しんでい
きたいですね。(高島)



ぜんかい屋の主な行事等

二〇二五年六月～二〇二五年十二月

◇ 六月・七月・九月・十一月・十二月の十一日 イオンスタイル野田阪神 幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動をがんばりました。



◇ 六月、九月、十二月に、「北区種から育てる地域の花づくり事業」様より、ボランティアさんが種から育てた季節の花々

の苗を提供していただき、ぜんかい屋の前の花壇で育てました！ いつもありがとうございます！

◇ 七月、十月、十二月にきたマルシェ手芸品販売を頑張りました！



◇ 十一月八日 柴島中学校・十二月六日 摂津第二中学校
ゆめ風中学生プロジェクト 避難訓練



◇ この秋、十一月、外出行イベントに色々出かけました。



北口さん、伊東さん (三田アウトレット・エスコヤマ買物)
 近藤さん、津田さん (しまむら買物) 村上さん、高長さん
 (将棋会館) 北浦さん (塚古墳気球) 瀧山和也さん
 利加さん (滋賀紅葉ドライブ) 小杉さん (食事焼肉屋)



初代モンスター号お疲れさま！



二代目モンスター号どうぞよろしく！

◇ 十一月 今年の助成決定で新しい車両の導入を目指していましたが希望の車種の製造が滞っていて、なかなか購入に至らず、なんと一年越しの事業完了となりました。新車はあきらめましたが状態の良い中古車を見つけたことができました。洲崎福祉財団様には、長い間待っていただき本当にありがとうございました。大切に使用させていただきたいと思っております。愛称は二代目モンスター号！

田代さん(海遊館) 柿本さん、堀江さん(ほしだ園地紅葉散策)

◇ 十二月十日 北区民生委員児童委員協議会様より今年も歳末寄付金2万円を頂きました。いつもありがとうございます！



ふみごんのページ

伊東 史恵

お久しぶりです。ふみごんです。

今年の七月からシェアハウスに住んでいます。

毎日のようにヘルパーに来てもらって家事全般をしてもら

っています。すごく助かっています。

山田からシェアハウスの近くに就労支援B型を探しても

らって、週3日働いています。

シェアハウスではいろんな障害者で住んでいるので、なか

なか難しいことがあって、たまに私が怒っています。イ

ライラが続くとお母さんとか友達とかの電話を聞いてい

もらっています。

実は、最近になって階段から落ちて右の肘を脱臼してし

まって、脱臼は治りましたが、心が病んでしまって親と

かぜんかい屋のみんなと話することが嫌になってしまっ

て、フラットの相談支援を開いて話し合いました。そこで

シェアハウスに住もうと話しました。体験してからの

暮らすようにしました。ヘルパーがいないので、戸田さん

が見つけてくれてやっと毎日来るようになりました。だん

だんと明るい気分に戻って良かったです。でも、前は一人で

買い物とかコンサートとか行っていたのに、繰り返しが多く

なって自分でも嫌になってきました。車いすの方がついつ

い乗ってしまっ歩いて歩きたいねんけど、なかなか

一歩が進まなくなっどうしようと思っってます。精神科も

変わって、フレンドリーな先生で良かったです。就労支援b型をもうちょつと増やしたいなあと思って思っていますが、金曜日に実家に帰らないとダメなので一人で地下鉄乗って行きたいなあと思っています。

みなさん、いい考えはないでしょうか。

就労支援b型はくまさんに服を着せる仕事をしています。

Tシャツも袋詰めをしています。皆さんたちも私のことを

歓迎してくれてうれしかったです。前の山田は給食と

定期代を工賃から出していました。今のところはご飯も

提供してくれるので、まるまま工賃をいただけます。それ

が良かったなあと感じています。



※ ふみゴンページは、文章と校正も自分でやりました。間違いも勘弁して下さい。

おおぞら だいち
大空と大地のように



詩 し

おおぞら ひろ だいち きみ ひとり ゆめ み
大空と広い大地に君は一人で夢を見る

いま み みたことのない あたら ひび み
今までに見たことのない新しい日々を見つめてる

ある だ おおぞら した ふたり ある
歩き出した大空の下あなたと二人で歩いている

のやま きぎ みどり だいち いのち かぎ い
野山や木々も緑も大地も命の限り生きてみる

松村 まつむら

美雄紀 みゆき

しあわ
きっと幸せに

いま しあわ
きっと今より幸せになりたい

むづか し
それは難しいかも知れないが

しあわ く おも
きっと幸せは来ると思う

じぶん しん
そう、自分を信じていけば！



ありがとうございます (敬称略)

二〇二五年九月一日〜十二月三十一日

正会員

浅津	敏彦	山下	福恵	竹内	航
あさづ	としひこ	やました	ふくえ	たけのうち	わたる
近藤	順子	福島	義弘	福島	道子
こんどう	じゆんこ	ふくしま	よしひろ	ふくしま	みちこ

応援者会員

大野	公子	伊東	昌孝	松江	靖朝
おおの	きみこ	いとう	まさたか	まつえ	やすとも
佐々木	晶子				
ささき	あきこ				

会員カンパ・寄付金

匿名	山田	亀田	真実	戸田
とくめい	かおり	かめだ	まみ	としゆんじろう
				俊二郎

北区民生委員児童委員



WANTED まず、 参加 ください！ とんとん つくりつう

障害者と応援者・声援者の出会いを

誰でも、
どんな形でも：

参加してください。きっと、すばらしい出会いが待っていますよ。

● 障害者

年会費 三、〇〇〇円です。

● 応援者

年会費 三、〇〇〇円です。

● 声援者 II 「応援センター」の趣旨に共鳴してくださる方は、活動をバックアップするため毎月1口5000円を未長くご協力ください。できれば2口お願いします。

● 団体声援者 II 各種団体や会社で

「応援センター」に資金援助してくださるグループを求めています。(年間1口3万円。もちろん、何口でも多いほどうれしいです。)

● 一時的カンパ II もちろん大歓迎！

● すたこらさん購読者 II 遠方の方(近くの方も)で応援センターの

活動状況やいろいろな情報を知りたい方は購読者として参加してください。

年会費 二、〇〇〇円です。

グループとして購読してくださる方々も大歓迎。

1月10部発送で年会費

一八、〇〇〇円です。

※ 障害者、応援者、声援者の各年会費に本誌すたこらさん購読料が含まれています。また、会費以外で当センターへの寄付金カンパをいただいたみなさまに本誌をお届けしています。



もくじ

《K S K すたこらさん 2025秋号》

- | | | |
|---------------------|-------|-----|
| 1. 枚口一ニさんを語り合う会を終えて | 福島 義弘 | …1 |
| 2. 関西万博を終えて | ぜんかい屋 | …3 |
| 3. 万博 | 村上 晃 | …5 |
| 4. 金沢さん陳情活動 | 金沢 伸行 | …7 |
| 5. 入院はもうこりこり | 村上 晃 | …8 |
| 6. ぜんかい屋からの手紙 | ぜんかい屋 | …10 |
| 7. ふみごんのページ | 伊東 史恵 | …14 |
| 8. 詩(2篇) | 松村美雄紀 | …16 |
| 9. 良返屋通信 | 良返屋 | …17 |
| 10. ありがとうございます | 事務局 高 | …22 |

一九八四年八月二〇日第三種郵便物承認 毎月五回(5・10・15・20・25日)発行 定価二百円

編集人 特定非営利活動法人
おおさか行動する障害者応援センター
〒530-0035 大阪市北区同心2丁目6-13
エミネントヤナセ101
電話 06-6357-5797 FAX 06-6242-1120

発行人 関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4階
電話/FAX 06-6763-3338